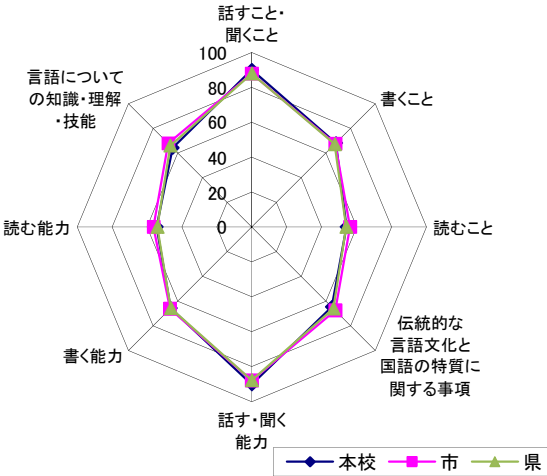


宇都宮市立上河内東小学校第4学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	90.1	87.9	87.8
	書くこと	68.1	67.6	67.1
	読むこと	54.3	56.3	54.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	64.8	67.6	66.0
観点	話す・聞く能力	90.1	87.9	87.8
	書く能力	65.8	66.3	65.7
	読む能力	54.6	56.3	54.1
	言語についての知識・理解・技能	64.2	67.7	66.0



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○話し方の工夫に気をつけて聞くことは市の正答率を上回っている。	・国語の授業を中心に、話し合いの機会を意図的に設定して、相手の話した内容をメモしたり、質問や意見を伝え合ったりすることを通して、話の中心は何かを意識しながら、正しく聞き取れるようにしていきたい。また、朝の会で行っている1分間スピーチを活用して、話す・聞く力を計画的に伸ばしていきたい。
書くこと	○読み手に伝えたい事柄を正確に書いたり、敬体で書いたりすることが市の正答率を上回っている。 ●招待する手紙の形式を理解し、あいさつの言葉を書くことについては、県・市の市正答率を下回っている。	・いろいろな手紙の形式について理解させ、手紙を書く機会を確保することで、共通する基本的な形式を覚えさせ、お礼の手紙や感謝の手紙などが書けるようにする。また日常の学習活動の中で自分の考えや感想などを文章で表現する機会を増やし、継続的に文章を書く習慣を身に付けさせ、書く力を高めていきたい。
読むこと	○目的や必要に応じて、中心となる語をとらえることや、場面の様子を叙述を基にして読むこと、与えられた情報から話し合いの展開を理解することについては、県・市の正答率を上回っている。 ●文と文のつながりに注意して、文章を読むことや、叙述を基に登場人物の気持ちを想像して読むこと、与えられた情報から資料の特徴を理解することについては、県・市の市正答率を下回っている。	・説明文では、段落のまとまりや段落相互の関係をとらえさせるために、接続語や指示語に気を付けながら、段落の要点をまとめたり、段落のつながりを図で表したりして、内容を構造的に理解させたい。 ・物語文では、人物の様子や気持ちを表す文や言葉に留意しながら、丁寧な読み取りができるように、教科書に書き込みをしたり、ワークシートに整理したりしながら、登場人物の心情に迫れるようにしたい。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	○反対の意味の言葉や、ローマ字による書き方、指示語の使い方の理解については、県・市の正答率を上回っている。 ●該当学年の漢字の読み書き、国語辞典の使い方の理解については、県・市の正答率を下回っている。。	・漢字の書き取りについては、新出漢字の指導を十分行うとともに、前学年で学習した既習漢字についても、家庭学習など通して復習する機会を作るようにする。また、単元ごとに行うテストやステップアップシートなどを活用して習熟を図りたい。 ・国語辞典の使い方については、物語文や説明文において意味調べの活動を取り入れ、言葉の並び方の理解や適切な意味の選択の力を付けていく。